

令和7年度第3回コミュニティ・スクール委員会

(清水・御影 CS 委員会合同開催)

会 議 録

1 出席委員等

清水 CS 委員会~梶委員長、勝田副委員長、中村委員、高委員、嘉藤委員、寺岡委員

欠席~長尾委員、中島委員、上出委員、堀委員、林委員、小室委員

御影 CS 委員会~佐々木委員長、澤山副委員長、細田委員、口田委員、門木委員、上谷委員、佐藤委員、天野委員、金山委員

欠席~藤川委員、久野委員、大石委員

【教育委員会】山下教育長、玉手係長、高谷主事

【事務局】本田学校教育課長、安ヶ平社会教育課長、渋谷社会教育課参事、太田同課参事(支所長)、大山教頭、村尾教頭、匂坂副園長、伊藤教頭、宮脇教頭、吉田教諭、久朗津教諭、西教諭、上出 CS コーディネーター

2 場 所 清水町御影公民館大集会室

3 日 時 令和8年2月25日(水)18時30分

4 傍聴人数 0名

5 会議内容

教育長あいさつ

先日オリンピックが終わり、十勝からも10名ほどが選手として活躍したが、近い将来、清水からもオリンピックが誕生するだろうと予想している。

今年も多くの子どもたちが活躍され、スポーツ賞・文化賞表彰を行うが、ぜひ足を運んでもらいたい。

先生方の全力での努力と工夫そして保護者の協力と地域の支援で学びの充実が図られた。全員で子供を育てた1年だった。

国から色々な言葉に関わる言葉は変わってきているが本質は何ら変わっていないと思う。学びが喜びとなることは教育の原点であり、家庭・地域・学校が一つになって子どもと向き合ってきていることが「しみず教育の四季」である。

両委員長挨拶

清水 CS 委員会梶委員長よりあいさつあり。

ピンクシャツデーとして取り組んでいるが、いじめは身近に必ずあることを保護者として考えることが大事ではないか。本日は、建設的なご意見により地域の皆さんと子育てをしていきたいし、次年度に向け良い意見交換ができればと思う。

御影 CS 委員会佐々木委員長よりあいさつあり。

CSとして考えることを出し合い一つでも先に進めるため語り合える良い機会となつてほしい。

説明・協議事項

(1)各学校等の取組結果について(各学校等から説明)

しみず認定こども園、御影こども園、清水小、御影小、清水中、御影中の順に、当日配布資料(教育のデザイン診断編)に基づき説明。

各学校等の説明に対し質問・意見無し。

(2)意見交換(熟議)

清水 CS 委員会と御影 CS 委員会をそれぞれ2分散会で討議の後、全体で発表を行う。

「どのような子どもに育ててほしいか」「そのために大人はどうすべきか」「その他委員として普段考えておられること」をテーマに意見交換を行った。

御影 B 班 司会 上谷委員 発表 久朗津教諭

子どもには、自立し自分が興味を持ったことに主体的に取り組んでほしい。チャレンジしてほしい。そのために大人は、手を出し過ぎない、最低限の手助けをし受け止めるがセイフティガードは必要ではないか。励ますことが大事ではないか。過程を認める。選択肢を与える。本人に選択させ自分に責任を持たせる。

それから、地域を大切にする子になってほしい。そのためには十勝清水学の充実を進めてほしい。学校から地域に出向くことも大切だ。交流することにより、わが子だけではなく周りの子も見守るという気持ちが必要。

御影 A 班 司会 口田委員 発表 佐々木委員長

こども園のころから中学校まで、子供同士で学び合う、大きい子が小さい子を見ることが御影の地域性と感じる。先生との関係も大人になるための必要なスキルであろう。人間相互の関係性が育っていく、その流れの中に親も入っていても良いのではないか。

清水 B 班 司会 嘉藤委員 発表 大山教頭

人の意見に流されず自分の考えで行動できる子に育ててほしい。前向きで自立的であってほしい。そのために大人がやり過ぎると成長の妨げになるので手を出さない。あえて子どもの失敗を体験させることにより気付くことや発見することが多いのではないか。そのためにも大人が子どもの意見をじっくり聞いてあげられることが大事ではないか。

スマホの危険性としてスクリーンタイムが長い人ほど幸福度が下がると研究結果が出されている。生活から切り離せない物であり使い方によっては便利なので、動画を観て、次のアクションにつながられれば有効ではないか。その方向に導くことが大人の役割ではないか。

清水 A 班 司会 梶委員長 発表 村尾教頭

自分で考えて生きる力を持っている子どもに育ててほしい。食は生きる基本であるのでフォーカスした。大人はオートメーション化が進み親のがんばっている姿を見せることができなくなった時代だが、ウェルビーイング(=幸福度や満足度を高め充実させる)として、例えば昼ごはんをコンビニ弁当を単に与えるのではなく一つ添えるなどちょっとした工夫が親子関係としては必要ではないかということを伝えていくことが大切ではないか。

(4)その他

令和 8 年度教育の四季地域学校協働本部会議と兼ねて 4 月に第 1 回 CS 委員会を開催する予定であることを周知。委員の任期は 1 年であるが、役職で引き継がれる方については、CS 委員として任務があることを伝えてほしいことを説明。

他に発言なく会議を終了。

(20 時 08 分)